

エコアクション21

2025 年度

(対象期間：2024年12月1日～2025年11月30日)

環境経営レポート



目次

■ごあいさつ	・・・1
■環境経営方針	・・・1
■組織の概要	・・・2
■認証・登録の対象組織・活動	・・・2
■組織図	・・・3
■主な環境負荷の実績	・・・4
■環境経営目標及びその実績	・・・4
■環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	・・・5
■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	・・・6
■代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・6
■環境活動の紹介	・・・6～7

作成日：2025年12月19日



認証番号 00:0787

SHINTOKU
新徳工業株式会社

新徳工業株式会社は昭和55年12月に創業以来、豊かな自然に囲まれたこの地（加西市）に工場を構え、金属部品メーカーとして（「ものづくり」の企業として）歩んで参りました。近年、益々クローズアップされている環境問題も一企業として無視できない状況であることを認識し、我々が事業活動を続けていくためには環境保全に取り組む姿勢が必要であると考えます。この度、環境システム（エコアクション21）の導入により、地球環境に優しい企業を目指し！新たな一歩を踏み出して参ります。今後とも、ご指導ご高配を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

新徳工業株式会社
代表取締役 徳 保郎

環境経営方針

基本理念

当社は環境に配慮できる企業として、金属プレス加工部品の製造を行う事業活動から生ずる環境負荷の低減に努め、次世代へ豊かな自然と限りある資源を継承するために、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に継続的に取り組みます。

行動指針

- 1 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 廃棄物の削減及び再資源化（リサイクル）の推進に努めます。
- 4 水使用量の削減に努めます。
- 5 化学物質使用量の適正管理に努めます。
- 6 不良損失金額の削減による、環境に配慮した製造に取り組みます。
- 7 会社周辺の美化・清掃活動を推進します。

制定日： 2024年12月1日

代表取締役 徳 保郎



組織の概要

名称及び代表者名

新徳工業株式会社

代表取締役 徳 保郎

所在地

本 社 兵庫県加西市坂本町914-38



環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 徳 充浩 TEL：0790-48-2066

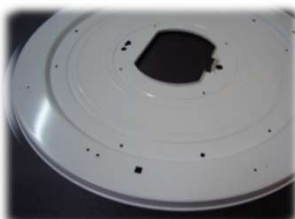
担当者 管理部部長 富上 弘樹 TEL：0790-48-2066

事業内容

金属材による精密金属プレス部品の製造

主要製品：車載用二次電池部品、車載部品、配電盤機器、電子ロック

LED照明器具、暖房器具、OA機器部品等の各種精密金属プレス部品



事業の規模

製品出荷額 6.1 億円

主要製品生産量 1.8 トン

従業員 25 名

延べ床面積 1800 m²

事業年度 12月～11月



認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 新徳工業株式会社

対象事業所： 本社

対象外： なし

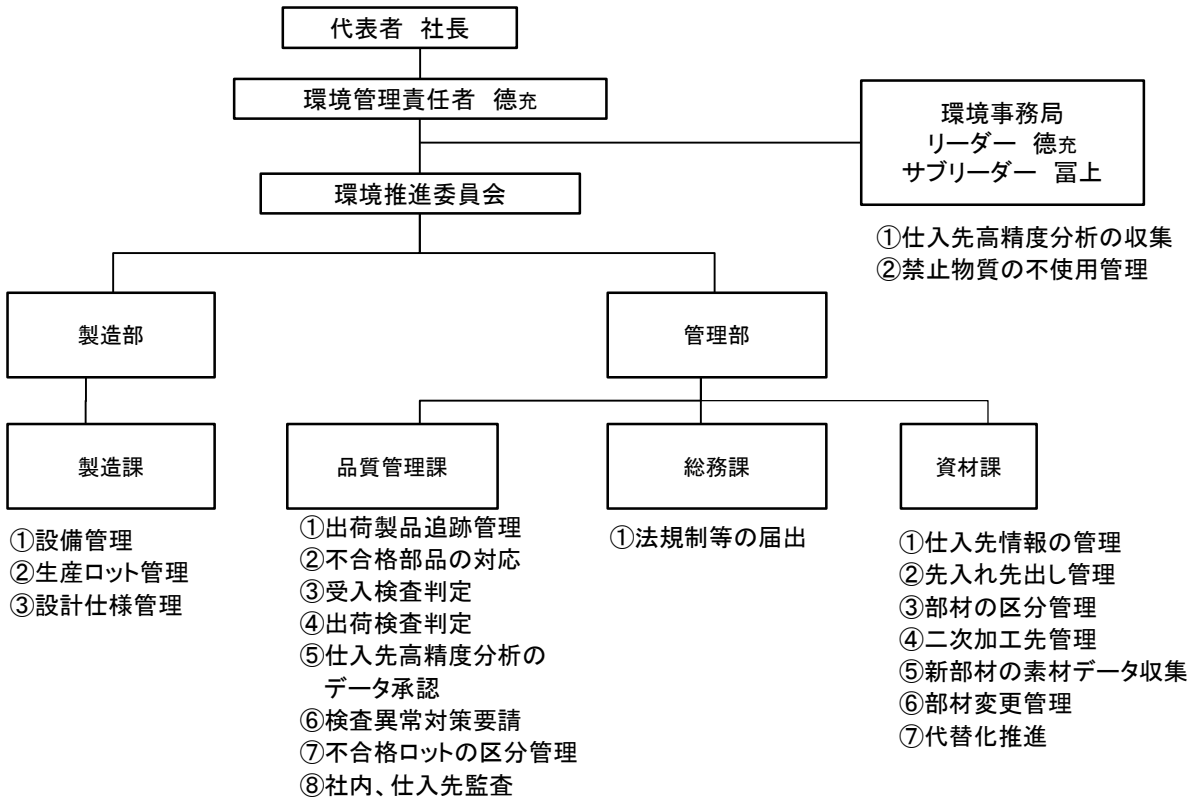
活動： 金属材によるプレス部品の製造



実施体制図及び役割・責任・権限表

作成者：徳 充浩

更新日：2025年12月19日



対象者	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境管理責任者を任命 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 禁止物質管理の監視 化学物質に関する異常が発生した場合、製品(部材)の出荷(使用)停止と解除 原因究明、再発防止の指示 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営活動レポートの確認 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営活動計画書を確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 情報(顧客・グリーン調達・法規制)の収集・伝達 環境推進委員会の、推進と運営 環境管理責任者の補佐、環境推進委員会の事務局 グリーン調達基準(最新版)の保管・管理 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境経営活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境負荷物質の調査・測定(必要に応じて外部に委託する) 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
責任者 (主任・次長・部長)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



主な環境負荷の実績

項目	単位	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	142,820	137,302	49,862
廃棄物排出量	kg	7,634	5,278	6,510
一般廃棄物排出量	kg	4,644	4,208	5,050
産業廃棄物排出量	kg	2,990	1,070	1,460
特別管理産業廃棄物 (再資源化)	kg	580	580	290
総排水量	m ³	510	571	397

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.452→0.000 kg-CO₂/kWh (2025/2/1より日本テクノ(株)に変更)

※二酸化炭素総排出量には、LPG使用による排出量も含む(参考)

環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2025年		2026年	2027年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	180,347	144,277	24,930	142,474	140,670
	基準年比	2019年	80%	14%	79%	78%
売上高原単価表	kg-CO ₂ /千円	0.299	0.239	0.041	0.236	0.233
	基準年比	2019年	80%	14%	79%	78%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	31,920	27,132	24,919	26,813	26,493
	基準年比	2019年	85%	78%	84%	83%
液化石油ガス(LPG)による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	118	118	12	118	118
	基準年比	2019年	100%	11%	100%	100%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	212,384	171,527	49,862	169,405	167,282
一般廃棄物の削減	kg	6,039	5,194	5,050	5,133	5,073
	基準年比	2019年	86%	84%	85%	84%
産業廃棄物(混合廃棄物)の削減	kg	9,430	4,715	1,460	4,621	4,526
	基準年比	2019年	50%	15%	49%	48%
水道水の削減	m ³	648	616	397	609	603
	基準年比	2020年	95%	61%	94%	93%
化学物質(トカOfI丸)の適正管理	kg	1,740	1,740	580	1,740	1,740
		2019年	100%	33%	100%	100%
製品への環境配慮(不良損失金額の削減)	万円	154	180	106	180	180
		2019年	117%	69%	117%	117%



環境経営計画及び取組結果と その評価、次年度の取組内容

評価基準 数値目標：○達成 ×未達成

施策：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更なし	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	継続	電力会社を日本テクノに変更した事で、使用量の見える化が推進された事により、社内に節電の意識付けが進んだ様に思われる。実際に電気料金も削減出来、CO2フリーメニューでの契約になったので、CO2排出量も現在は0となっている。来年以降も本年度の活動を継続し、意識的に節電していくように努める。
・エアコンフィルターの清掃	○	継続	
・照明器具の清掃・交換	○	継続	
・機械設備・照明、不要時の電源オフ	◎	継続	
・夜間・休日、OA機器の主電源オフ	◎	継続	
・エアホースのエア洩れ点検と保全	△	継続	
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更なし	
・エコドライブ	○	継続	取引先が増加する度に自動車燃料の使用量は増加するが、適正管理が出来たおかげで、最終的に目標が達成出来た。来年以降も本年度の活動を継続し、適正年利に努める。
・効率的なルート配送	△	継続	
・積載率の向上による配送便の削減	△	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更なし	
・分別の徹底、再資源化	○	継続	機械の入替えなどで、ゴミの排出量が増加したが、最終的には目標は達成出来た。
・コピー裏紙の再利用	○	継続	
・使用済み封筒の再利用	○	継続	
・印刷プレビューの確認（啓発活動）	△	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更なし	
・分別の徹底（置き場の3S活動）	◎	継続	機械の入替えなどで、ゴミの排出量が増加したが、最終的には目標は達成出来た。
・混合廃棄物の分解、再資源化	△	継続	
・素材別ボックスの設置・整理	○	継続	
・梱包用木材を購入先へ返却（木くずの削減）	◎	継続	
水道水の削減			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更なし	
・手洗い、洗い物時の節水（啓発活動）	△	継続	年間を通して、適正に管理が出来ていたと思われる。来年度も継続して適正管理を実施する。
・社用車の必要最小限の洗車と洗車時の節水	○	継続	
・冬季のトイレの元栓を閉める事による配管破裂防止。	○	継続	
化学物質（トリクロエチレン）の適正管理			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更なし	
・有害性物質の表示の徹底	○	継続	トリクロロエチレン以外への洗浄液への代替を進めてきて、ほぼ代替が完了したと思われる。受注次第で使用量は大きく変動するが、今後も適正管理に努める。
・容器の蓋の徹底	○	継続	
製品への環境配慮（不良損失金額の削減）			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更なし	
・不良損失金額の削減	○	継続	目標値自体はISOの目標値とリンクしているので、準じて設定している。傾向的に材料費の高騰とは反して、不良金額は増加していないので、適正管理出来ていると言える。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	継続	
社会貢献			
・会社周辺の美化・清掃活動	◎	継続	



環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
騒音・振動規制法	プレス機械、空圧機、送風機	○
水質汚濁防止法	脱脂洗浄機	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検・定期点検の実施	○
PRTR法	脱脂洗浄機、第1種指定化学物質使用量の報告	○
高圧ガス保安法	ボンベ類の転倒防止	○
自動車リサイクル法	社用車、廃車時の適正処理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度は2月より電力会社を変更し、デマンド管理によるピーク電力の低減、社内への啓蒙、CO2フリーメニューにより二酸化炭素排出係数が0になるなど、電気管理の面では大きく改善された。他の項目においても、改善が進み、今後大きく改善することは難しいと思うが、現状を適正管理し、全社員に意識が行き届く様に、今後は維持管理をしていきたいと思う。他には取引先よりグリーン調達における要求事項などが増えてくるので、対応出来る様な仕組み作りも進める。

2026年1月16日 代表取締役

徳 保 郎

環境活動の紹介

■節電・節水などの啓発活動
啓発ポスターを掲示して呼びかけをしています。



■印刷プレビューの確認
啓発ポスターを掲示し、ムダな印刷をしないように呼びかけをしています。



■コピー用紙（裏紙）のリサイクル活動
不要となったコピー用紙を収集し、裏を再利用するようにしています。



■環境教育

当社の環境への取り組みについて、理解を深めるために教育を実施し、従業員の意識の向上に努めています。



■再資源化への取り組み

分別して再資源化に取り組んでいます。



■避難訓練

年に1回、避難訓練を実施しています。



■会社周辺の清掃活動

年に2回、従業員全員で会社周辺の清掃を行っています。



私たち、従業員全員でエコアクション21の環境活動に取り組んでいます。

